

# 事業報告書

社会福祉法人 仁栄会

## I 法人（概要）

- 1 法人名 社会福祉法人 仁栄会
- 2 事務所の所在地 徳島県板野郡松茂町広島字楯ノ先 23 番地 1
- 3 代表者 理事長河野美彦
- 4 設立年月日 昭和 51 年 8 月 9 日認可
- 5 役員等の状況 定員（理事 7 名・監事 2 名・評議員 8 名）
  - (1) 理事 河野美彦 若松福己 芳川友子 中西陽子  
盛 京子 市橋義明 森崎正治
  - (2) 監事 手塚 任 吉川英治
  - (3) 評議員 佐藤禎宏 佐藤利男 山田智子 杉村ヒロ子  
近藤 登 大森一子 穂田英夫 (欠員 1 名)
- 6 実施事業 **【社会福祉事業】**
  - (1) 第 1 種社会福祉事業
    - (イ) 障害者支援施設
      - ・ 障害者支援施設春叢園（生活介護、施設入所）
  - (2) 第 2 種社会福祉事業
    - (イ) 障害福祉サービス事業
      - ・ 短期入所事業所（春叢園）
    - (ロ) 障害児通所支援事業
      - ・ 児童発達支援事業、児童発達支援センター（ねむのき）
      - ・ 児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業（ねむのき）
      - ・ 保育所等訪問支援事業所（ねむのき）
    - (ハ) 一般相談支援事業
      - ・ 一般相談支援事業所（仁栄会）
    - (ニ) 特定相談支援事業
      - ・ 特定相談支援事業所（仁栄会）
    - (ホ) 障害児相談支援事業
      - ・ 障害児相談支援事業所（仁栄会）**【公益事業】**

なし

**【収益事業】**

なし

## Ⅱ ねむのき（概要）

### 1 児童発達支援センターの状況

#### （1）利用児の状況

- ア 人数 48名(定員30名) ※年度途中1名退園し、年度末には47名
- イ 性別 男35名 女12名
- ウ 年齢 平均年齢4.8歳（6歳児17名：36.2%）
- エ 障害 自閉性障害・発達障害等（13名：27.7%）  
先天性疾患等（11名：23.4%）  
精神発達遅滞（2名：4.2%）  
不明（21名：44.7%）
- オ 利用数 1日平均 約33.5名

#### （2）支援内容

##### ア 指導訓練目標

- ・生活習慣の確立
- ・運動機能の促進
- ・認知能力の促進
- ・社会性の発達促進
- ・言語発達の促進
- ・個人課題指導(月1回)
- ・家庭支援
- ・在宅支援

##### イ 療育指導内容

- (ア) 基本的な生活習慣（食事、排泄、衣服の着脱等）の自立にむけて、個々の発達段階に応じて「自分のことは自分でできる」ことを目標に、繰り返し支援した。
- (イ) 療育方法については、クラス別療育と発達段階を考慮したグループ別療育に取り組むとともに、月に1回程度、個々の発達課題を考慮して設定したプログラムによる個別指導を行った。

#### （3）卒園児の進路（19名）

- ア 特別支援学校13名（68.4%）
- イ 地元小学校通常学級1名（5.3%）
- ウ 地元小学校支援学級2名（10.5%）
- エ 地元小学校病児学級1名（5.3%）
- オ 幼稚園2名（10.5%）

### 2 児童発達支援事業の状況

#### （1）利用児の状況

- ア 人数 17名（定員5名）
- イ 性別 男8名 女9名
- ウ 年齢 平均年齢3.6歳（6歳児4人：23.5%）
- エ 障害 染色体異常、難治性てんかん、心疾患、脳性まひ等多様
- オ 利用数 1日平均 約7.6名

#### （2）支援内容

##### ア 指導内容

- ・ いろいろな遊びを経験しながら、遊びの楽しさを知る。
- ・ 基本的運動能力を養う。

- ・ 遊びの中で友達や保育者を意識する。
- ・ 戸外に出る機会を多くし体力づくりを行う。

イ 課題への対応については、基本的な運動機能が未熟なため様々な遊びの中で多くの感覚を刺激し、児の「快」の表情や状態を引き出すプログラムを行った。

### (3) 卒園児の進路 (4名)

ア 特別支援学校 3名 (75%)      イ 地元小学校支援学級 1名 (25%)

## 3 健康管理の状況

毎日の体調チェックとともに、保護者と緊密な連絡を行い健康状態の把握に努めた。また、定期的な身体測定、嘱託医による健康診断により健康管理を行った。

## 4 給食の状況

必要な栄養を摂取するだけでなく、「食育」という観点から幼児にとって好ましい食事の提供に努めた。嚥下・咀嚼困難、消化吸収機能の悪いなどの問題をある児に対しては、調理形態の工夫や改善を行った。また、季節の行事食などで季節を意識できるよう配慮した。

## 5 安全・防災の状況

定期的な訓練を継続的に実施し、安全・防災意識の向上に努めるとともに、新たに不審者対策としての訓練も行い、併せて不審者対応についての職員研修の実施や施設整備及び防犯用品を整備した。

## 6 職員の状況

療育の質や技術力の向上を目的に施設内外の各種専門研修への派遣や伝達講習を行い、多様化・複雑化する発達課題に対応するため職員のスキルアップに努めた。

## 7 地域支援の状況

### (1) 徳島県障がい児等療育指導事業の実施

ア 外来による療育指導

＜個別＞ 178日：延463件    ＜集団＞ 19日：延148件

イ 施設職員等に対する療育技術指導

8機関：41名

ウ 訪問による療育指導

実人員1名：延件数13件

### (2) 市町村相談支援事業の実施 (板野郡5町)

相談総計：372件 (相談件数：319件、電話相談53件)

### (3) 藍住町・松茂町・板野町への母子保健事業への支援

## 8 福祉サービス苦情解決事業

(1) 苦情として受付けたもの以外にも、常に利用者の立場に立ってサービス提供についての気になる点や改善点について職員間で話し合い、問題となる前に対応できるようヒヤリハット事例を取り上げ検討したり、サービス内容を点検し環境改善をした。

### (2) 実績

ア 福祉サービス苦情解決事業関係者会議の開催：1回 (H28.12.14)

イ 苦情件数：なし

ウ 相談件数：3件

エ ヒヤリハット事例件数：307件

## Ⅲ 春叢園（概要）

### 1. 支援内容

#### （1）日中活動支援（生活介護）

利用者のニーズに沿った個別支援計画に基づき、利用者の特性、能力等を勘案し利用者個々に合わせた日中活動を支援した。食事、入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援を提供すると共に軽作業等の生産活動や制作活動の機会を提供し利用者の身体能力の向上や日常生活能力の維持・向上を図った。定期的にモニタリングを行い、支援内容の検証を行った。

若年層の自閉症の方に対し多様なニーズに適切に対応し個々の思いや個性を尊重し、一人ひとりに合わせた支援プログラムを創出、実践することを目的に「なごむ班」とし薬草園での活動を実施した。

65歳以上の方に対し普段の生活の中で刺激や達成感を感じ、元気に過ごすと言う目的で園内通貨「すんそー円」活動を実施した。個々に目標を設定し達成することでポイントがたまり園内通貨である「すんそー円」に交換。月2回開催の園内カフェ、マーケットでの使用し、各人のやりがいに繋がっている。

スポーツ面では、利用者も意欲的で各種競技会への参加。文化芸術面でも放美展やエナジー展等、県内外の芸術祭や地域の文化祭に数多く出展した。

その他、生活にゆとりを持たせるため、利用者一人ひとりのニーズや社会知識の取得レベルに応じたグループを編成、自主活動を通じて個々の要望に応じた外出等を行った。

作業については、利用者の年齢や能力に応じたものとし、無理のない作業参加と作業を通じ持続性、確実性、意欲等の向上に努めた。また、65歳以上の利用者の作業参加については心身面への負担を配慮して本人の意思を尊重して行った。また、就労意欲のある利用者については、園外実習の機会を従来通り提供することができた。

#### （2）施設入所支援

施設入所支援については、利用者のニーズに沿った個別支援計画に基づき利用者が健康で充実した生活が送れるよう支援した。障害の程度や特性に配慮し夕方から翌朝までの食事・入浴・排泄・睡眠等の日常生活全般のサービスを提供した。

#### （3）生活介護、施設入所支援事業月別利用者数 <別途報告>

#### （4）食 事

食事については、利用者の平均年齢が高く咀嚼・消化吸収・代謝能力等に個人差があり配慮を必要とすることから、個別対応に重点を置きながら利用者の立場に立った食事を心掛けた。又0-157をはじめとする食中毒防止のため、衛生面に細心の注意を払い食事を提供した。

#### （5）健康管理

健康管理については、疾病の早期発見、感染症対策に重点をおき各種検診の実施、日頃から手洗いやうがいの励行、手指消毒、予防接種、空気清浄機の設置により予防に努めた。

また、利用者の特徴として高齢者が多いことから骨塩量を測定、骨粗鬆症の治療とともに予防策として歩行訓練やリハビリ器機による機能訓練を実施した。

#### （6）地域交流

地元の中学校、民生委員との交流事業、文化祭等への参加を通じて地域の多くの方々と交流を行うことができた。

地域交流室の活用については、交流事業や地域のボランティアの受け入れ、利用者のレクリエーション、地域の会合や各種研修会場として利用されている。

## 2. 短期入所事業、日中一時支援事業、障害者相談支援事業

短期入所、日中一時支援の受入れ、障害者相談支援事業として、在宅障害者に対し施設機能の積極的利用や地域の障害福祉サービスに関する情報提供、様々な問題について相談を受ける一般相談事業、特定相談支援事業としてサービス等利用計画に作成や定期的なモニタリングを行った。

## 3. 職員研修

日本知的障害者福祉協会、徳島県知的障害者福祉協会、徳島県社会福祉協議会、その他関係機関が主催する研修会に参加した他、施設内研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

## 4. 安全と防災に関する内容

火災、震災、水害による避難訓練を月1回実施しており、人命救助に重点をおいた早期発見、消火訓練、早期避難の原則に従い訓練を実施した。

また、消防署の立会いの訓練時には非常通報装置を使用して通報訓練を年2回実施。また水消火器を使用した消火訓練も年3回行った。

## 5. 福祉サービス苦情解決事業

福祉サービス苦情解決事業の受付体制を整備し、福祉サービス苦情解決事業関係者会議を平成28年度は12月14日に開催した。

## 6. 地域貢献活動

社会福祉法人愛育会（松茂町内の別法人）や松茂町民生児童委員の皆さんと共に、月見ヶ丘海浜公園の海岸清掃に参加した。

※ <生活介護、施設入所支援事業月別利用者数>

年 月	生活介護（定員 59 名）		施設入所（定員 40 名）	
	延べ利用者数(名)	開所日数(日)	延べ利用者数(名)	開所日数(日)
28.4	1,316	22	1,163	30
5	1,228	21	1,162	31
6	1,340	24	1,152	30
7	1,358	23	1,199	31
8	1,353	23	1,182	31
9	1,303	22	1,164	30
10	1,371	23	1,229	31
11	1,319	22	1,194	30
12	1,156	21	1,206	31
29.1	1,209	22	1,181	31
2	1,157	22	1,090	28
3	1,390	24	1,212	31
計	15,500	269	14,134	365